

「新井」開削350年記念特別展

「水のめぐみ」より

② 県内最古のため池は？



▲天満大池(稲美町)は憩いの水辺でもあります

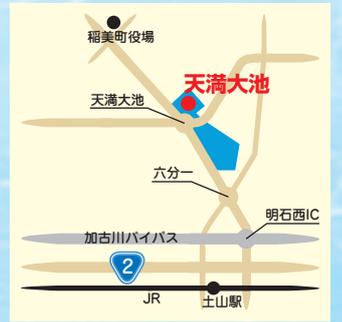
県内最古のため池は、稲美町の天満大池で、伝承によりますが675年に造られました。

壬申の乱の後で、新しい風がこの地にも吹いたころと考えられます。

さて、この大池があるところは、不思議な地形のところですよ。北東の神戸市の神出からの水がここまで来た後、わずかな高さの違いで、曇川を流って北西の加古川へ、喜瀬川を流って南西の播磨町へ、蕩ヶ谷を流れて南東の明石の瀬戸川へと三方へ行きます。そのためか、昔から、ここには龍神がいると言われてます。龍神を慰めるため、池の中に島をつくり、水の神でもある弁天さんを奉っています。

なお、これ以外には奈良時代の『播磨国風土記』の飾磨郡に馬臺の池をつくるこの記録があります。これも播磨国では最古級の記録です。

川やため池の思い出を募集しています。(郷土資料館)



このコーナーに登場してくださる「人、仲間たち」をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。企画グループ

活動や参加者の様子

本荘北自治会の「さわやかサロン」は平成14年11月の発足以来4年目に入りました。「ひなまつり」「花見」「盆踊り」「クリスマス」など季節ごとの催しを取り入れたり、ボランティアの方々の演芸で笑ったり感動したりと、回を重ねるごとに充実しています。参加してくださる方も月に1回の集いを楽しみにしておられます。最高齢89歳の方は、なんと皆勤で足を運んで来られてみんなのアイドル的存在になっておられました。しかし、突然の訃報を聞き、私はただ、びっくりして言葉もありませんでした。さわやかサロン現役でのお別れはとても悲しいことです。でも、短い間でしたが、「一生のひと時でも楽しく過ごすお手伝いをさせていただいたのでは」と、サロンでのお姿を思い出しております。

集まってくださる方々は、家族のような親しみを感じ、まちでお会いしても笑顔でふれあうことができ、心が和みます。皆さんが楽しみにしておられる年一回のバス旅行も「走る県民教室」を活用して無理のない内容で楽しんでもらっています。3回目の日帰り旅行、平成17年秋には赤穂海浜公園とみかん狩りに行きました。「お互いに年を重ねるとツアー旅行にはついていけない体力になり、旅行の楽しさを味わうことができない」と、言っておられた方も参加できると喜んでくださいます。眼下に海を見て、新鮮な空気、すばらしい景色に心洗われ、童心に返ってみんなに戯れたひと時を楽しみました。

皆さまのご参加をお待ちしています

毎月第3水曜日の午後1時30分「本荘北公民館」での「さわやかサロン」と第1水曜日の午後1時30分からの石ヶ池公園「喫茶すまいる」での「茶話会の集い」に顔を出してみてもいいですか。元気をつむぐサロンでお待ちいたしております。一緒に家族にならましょ。

